

関西地区

関西地区代表
吉野英知

副代表
中津壮人・和田浩二

● 主な活動団体（普及委員会関係）

- ・天満橋ビブリオバトル
- ・奈良県立図書情報館
- ・コーヒーショップ凡句来
- ・関西学院大学
- ・立命館大学
- ・英語でビブリオバトル
- ・橿原ビブリオバトル部
- ・三洋堂書店橿原神宮店
- ・生駒ビブリオ倶楽部
- ・ビブリオバトルふしみ
- ・夜カツ
- ・堺図書館ビブリオバトル倶楽部
- ・伊丹市立図書館ことば蔵ビブリオバトル部
- ・ビブリオバトル in にしのみや
- ・ビブリオバトル in なわて
- ・大和郡山ビブリオ
- ・ビブリオバトル in 同志社
- ・Sonodaビブリオバトル

氏名： 吉野 英知
所属： 関西・中国地区
連絡先： yoshinohidetomo@gmail.com



1. 天満橋ビブリオバトル（主宰）の運営

- 毎月第3水曜 夜 19:30~21:00 に大阪市内で開催、2016年3月開催分で第67回。中津壮人委員、池内祥見委員とともに主宰。
- 大阪市内の各会場で社会人を中心として毎回25名程度がコンスタントに参加。夜開催、会費制、事前に発表者の確保を行わないなど、特徴的な運営。
（*15年は大阪府立中央公会堂、グランフロント大阪ナレッジキャピタル、ジュンク堂書店、まちライブラリー（なんば、もりのみや）等で開催）

2. 講演・執筆活動

- 芦屋市教育委員会 講演（2015/7）
- 兵庫県教育委員会 ビブリオバトル甲子園（助言）
- 大阪府教育委員会 大阪子ども読書活動推進ネットワークフォーラム事業
 - ① 地区別研修 ビブリオバトル研修（2015/7,8）
 - ② 第1回大阪府中高生ビブリオバトル大会（2015/12） 司会進行
- ビブリオバトルシンポジウム 2015 パネルディスカッション・コーディネータ（2015/11）
- ビブリオバトル普及委員会編 『ビブリオバトル ハンドブック』 監修

関西から発信する、本からつながり動き出すチカラを

氏名：中津 壮人

所属：MERGETECTS（マージテクト）

連絡先：nakatsutakehito@gmail.com

■ 天満橋ビブリオバトル（2010年11月より開催）

<https://www.facebook.com/bibliobattle>

■ 図書館ビブリオバトル（2011年3月より開催）

<http://www.library.pref.nara.jp/event>



現在、私は主に大阪市内でビブリオバトルを開催している「天満橋ビブリオバトル」と奈良県立図書館情報館でのビブリオバトルを開催している「図書館ビブリオバトル部」へ関わっています。それぞれ、毎月1回のペースでビブリオバトルを開催しており、地域の人を本で結ぶということをやっています。ビブリオバトルのステキなところは、同好の士で集まるだけでなく、ビブリオバトルという「ゲーム」の体裁で、違った興味関心を持つ人が言葉を交わせることにあるなと感じています。そこで、ささやかながらではありますが、この取り組みを通じて全く違った持ち味の人がつながり、新しいわくわくする動きにつながっていけばよいなという願いも持って普及活動に参加したいと思っています。

2015年度は上記2つのビブリオバトル開催継続を中心に活動してきました。どちらも60回を超える開催となっており、特に図書館ビブリオバトルは東日本大震災の翌々日に初回を迎えまさに対話の場としてスタートしてここまで続いていることに感慨深いものがあります。2016年は引き続き、これらの場を継続していきますが、そこでのつながりの中からビブリオバトル以外の動きに発展していければよいなと思います。

また2015年は、大阪府中高生ビブリオバトルのサポートを吉野・池内両委員と共に実施しましたので、併せて報告させていただきます。

([http://www .pref.osaka.lg.jp/chikikyoiku/kyotenkeiseisien/taikai1kai.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoiku/kyotenkeiseisien/taikai1kai.html))

【関連画像の紹介】



▲天満橋ビブリオバトルで発行されている「月刊ビブリオバトル」（編集に参加）



▲図書館ビブリオバトルで発行されている「ならりオ」（編集に参加）



天満橋ビブリオバトルの様子



図書館ビブリオバトルの様子

学校活用における「楽しさ」とワークショップ型の訴求

氏名：谷口忠大
所属：立命館大学 情報理工学部
連絡先：tadahiro@tanichu.com
Twitter: @tanichu



本文

2015年度は各地での学校普及が進む中、また、2016年度のビブリオバトル国語教科書掲載を控えて、ワークショップ型ビブリオバトルの有効性の認識と、「楽しさ」を軸に据えたビブリオバトルの普及推進が重要なテーマとなったと考えている。2014年度までの活動や観察を通じて、学校導入におけるイベント型の弊害を抑え、楽しいビブリオバトルを全面に押し出していくためには、ワークショップ型の活用が必須であると考え、この推進に務めた。講演ではその重要性を説くとともに、普及委員会内での認識の共有にも努めてきたつもりである。

また、一般に向けては「やるぜ! ビブリオバトル」(鈴木出版) [1]「マンガでわかる ビブリオバトルに挑戦!」(さ・え・ら書房) [2]の二冊の監修を行い、学校で楽しく行うビブリオバトルのイメージを一般教員が手に取りやすい形で訴求する材料を次年度に向けて準備できたのではないかと考えている。

研究においては、ビブリオバトルの異文化コミュニケーションへの適用可能性を検証し、一定の有効性を検証できた。また、同時に、開催後の雑談が重要であるという言説も多いが、これを実証的に検証する研究も行い、終了後の雑談の重要性を確認することができた[3][4]。また、[5]に関しても学会発表を行った。

「楽しさ」はビブリオバトルにとってクリティカルである。「楽しさ」が参加者の能動性を駆動し、また、「いい本が集まる」というダイナミクスを駆動する。しかし一方で、しばしば、ビブリオバトルの「楽しさ」の重要性の訴求は、普及委員会メンバーの言説であっても、それ自体が「自己目的化」してしまう場合がある。

楽しいことはビブリオバトルにおいて重要であるが、「楽しければよい」というのは、また違ったニュアンスをもたらす。学校という場で導入が進む際、また、目的をもってビブリオバトルに取り組もうというコミュニティが存在した際に、「楽しさ」の持つ機能を、ある種、機能的に説明できる理論・文化を形成することは重要な課題であろう。

また、徐々に広がりつつある、国際展開に関しても 2016 年度は一定の成果を生んでいくことが重要と考えられる。国内においても「普及委員会から見えない」人たちがビブリオバトルを開催するシーンはどんどん増えていく。日英両言語での、ビブリオバトルのオープンコンテンツの整備も喫緊の課題であろう。

[1] やるぜ! ビブリオバトル (コミュニケーションナビ 話す・聞く) 谷口忠大 (監修)
鈴木出版

[2] マンガでわかるビブリオバトルに挑戦! 学校・図書館で成功させる活用実践ガイド
谷口忠大 (監修・マンガ原案), 沢音千尋 (マンガ), 粕谷亮美 (文), さ・え・ら書房

[3] 谷口忠大, 熊谷直樹, 異文化コミュニケーション支援としてのビブリオバトル, 第 59 回システム制御情報学会研究発表講演会 (SCT'15), .(2015)

[4] 谷口忠大, 熊谷直樹, ビブリオバトル終了後の雑談が異文化交流を加速させる, 計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会 2015 (SSI2015), .(2015)

[5] 谷口忠大, 発話時間の設計がコミュニケーション場に与える影響: ビブリオバトルと発話権取引を事例として, 計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会 2015 (SSI2015), .(2015)

英語でビブリオバトル 2015

English Bibliobattle to Build an Open Community

近藤雪絵（関西地区）
立命館大学 講師（英語）
kondoyu@fc.ritsumeai.ac.jp



「英語でビブリオバトル」 on **facebook**  イイね!

<https://www.facebook.com/BibliobattleEnglish/>

活動概要

京都・滋賀で「英語でビブリオバトル」の企画・開催を中心に活動しています。2015年度は日本という場所でありながら「英語で」ビブリオバトルを行うことの利点を鑑み、“Bibliobattle, To Build an Open Community Online”をキーワードに、言語、地域、所属の垣根を超えた取り組みを目指し、その一環として5月にSkypeによる遠隔参加を取り入れた会を開催しました（図1）。また、その取り組みと考察を8月にForeign Language Education and Technology Conference VIで発表しました（図2）。11月には、「くさつビブリオバトル 2015」の実行委員として、「英語部門」の運営に協力しました。また、これまでの「英語でビブリオバトル」の参加者のスピーチ分析、アンケート調査、他のプレゼンテーションイベントとの比較を元に「自主的学習サイクルを生み出す場としての“英語でビブリオバトル”」という題で『立命館人間科学研究 No. 32』に寄稿しました。



図 1



図 2

開催状況

英語でビブリオバトル 大学生大会 Vol. 4

日時	2015年5月3日
開催地	リンツ・イングリッシュ・スタジオ
参加者	5名（大学生）
チャンプ本	exercices de style (Raymond Queneau)
動画 URL	https://goo.gl/ngKeLr



英語でビブリオバトル in 京都 Vol. 5

日時	2016年1月21日
開催地	リンツ・イングリッシュ・スタジオ
参加者	6名（一般）
チャンプ本	物語の役割（小川洋子著）
動画 URL	https://goo.gl/mr4J99



実施協力状況

くさつビブリオバトル 2015 英語部門

日時	2015年11月22日
開催地	フェリエ南草津
参加者	7名（大学生、一般）
チャンプ本	The Origins of Virtue (Matt Ridley)
動画 URL	https://goo.gl/UgyY39



発表

1. A Book Review Game, Bibliobattle, for English Learners to Build an Open Community Online, Foreign Language Education and Technology Conference (FLEAT VI) at Harvard University, Yukie KONDO, Syuhei KIMURA, Mayumi OGA 2015/08/12
2. 自主的学習サイクルを生み出す場としての「英語でビブリオバトル」 近藤雪絵, 大賀まゆみ, 山下美朋 立命館人間科学研究 32, 117-129 2015/08

**「英語でビブリオバトル」の仲間を募集中です！
京都で、オンラインで、一緒に面白いことしましょう！**

滋賀県内におけるビブリオバトル普及活動

氏名：片桐 陽

所属：立命館大学

連絡先：akira1268@gmail.com

本文

2015年度の主な私の活動を以下に提示します。

- ・滋賀県教育委員会と提携した、高等学校訪問を通じた普及活動。
- ・大学生協と協力した、大学内におけるビブリオバトルの開催、運営。
- ・草津市と協力した、くさつビブリオバトルの開催補助、運営補助。
- ・長浜市立高月図書館、長浜図書館における講演会。

今後は私は沖縄に移住するにあたり、沖縄での普及活動に尽力できればと思っております。その際に、名称利用が必要になることがあるかもしれませんので、申請いたします。

活動報告2015

氏名：明石 友貴（関西地区）

所属：生駒ビブリオ倶楽部

奈良県立図書情報館ビブリオバトル部

橿原ビブリオバトル部

ビブリオバトル@アワヒニ

連絡先：ikomabiblioclub@gmail.com



【活動報告】ビブリオバトル普及委員として以下の活動を行った。

1) 主催者としての活動

生駒ビブリオ倶楽部員として定期的にビブリオバトルを開催

奈良県立図書情報館ビブリオバトル部員として定期的にビブリオバトルを開催

ビブリオバトル at アワヒニを定期的にビブリオバトルを開催

橿原ビブリオバトル部顧問として活動

2) 発表者・観戦者としての活動

天満橋ビブリオバトル、伊丹市立図書館ことば蔵ビブリオバトル、ビブリオバトル

in 伏見、ビブリオバトル in 大和郡山等、ビブリオバトル in なわて等

2015年は私にとって非常に大きな経験となった年でした。

前年に引き続いての関西大会に続き、初の全国大会の開催。どちらにも企画段階から加わり、当日は総合司会を担当しました。全国のビブリオバトルーとの交流もでき、得難い体験となりました。ついでに職場でもビブリオバトルの人としてかなり認知されました。

私に関わっているビブリオバトルでは通常20人から30人ほどの参加者がいますが、関西大会で100人、全国大会では300人以上もの参加者がおり、予選等を考えるとその数倍の方々が関わっていただいていることとなります。皆様に感謝いたします。公共図書館におけるビブリオバトルの開催方法として、一つの形は提示できたのではないかと思います。ノウハウ等もお気軽にお問い合わせください。

一方で、個人的な活動として6月よりビブリオバトル@アワヒニをスタート。小規模でアットホームな形でのビブリオバトルにも取り組んでいます。

生駒ビブリアオ倶楽部



開催
記録

1/25
ギャップ

3/22
関西大会

4/26
咲く

5/17
こども

6/28
告げる

7/26
カレー

8/23
書店員 SP

9/20
全国大会

10/25
もっと売れ
ていい本

10/25
生駒地区
予選

11/29
ミステリー

11/29
奈良地区
決戦

12/20
ささるセリフ

12/24
中学生大会

奈良県立図書館ビブリオバトル部



開催
記録

1/17
歴史

2/21
酒

3/21
酔

4/18
眠

5/16
ノテマ

6/21
エッセー

7/19
森

8/23
悟り

9/19
ア！と
なる本

10/17
おススメの
ア！-ア！-ア！

10/17
ア！-ア！-ア！を作っている
人がおススメするア！-ア！-ア！

11/21
「いつ！」と
なる本

12/19
プレゼント
した本、
された本

ビブリオバトル @ アワヒニ



開催
記録

6/10
時

7/6
名前

8/6
種

9/9
珈琲

10/8
かおり

11/10
まんが

12/8
日本

活動報告書(2015)



新谷 安文 ・関西地区
奈良県吉野郡吉野町檜井495-1
コーヒーショップ凡句来
0746-32-8187 e-mail : bonkura.ny@gmail.com

奈良県吉野で2013年より当店(コーヒーショップ凡句来)で、
ビブリオバトル(The cafe ビブリオバトル in 凡句来)を開催している新谷です。
2015年は当店では1月、4月、7月、10月の計4回の定期開催と、8月に臨時開催1
回を開催いたしました。

毎回、参加者の確保には苦労しておりますが何とかここまで無事に開催を終了する
ことが出来ている状態で、まだ必ずしも安定した開催にはほど遠い感じですが開催の内
容については、まずまず参加者同士のコミュニティーが結構充実しているかなと思っ
ています。

当店でのビブリオバトルを足がかりに、地域の教育現場などの機関に普及出来るよう
にと努力をしているつもりですが、まだまだ誠意と努力が足りずに実現はしていません。
理解と興味を示していただけの方々はいるのですが、なかなか積極的参加協力をいた
だける人が出てこないのも現実です。

そんな状態が続いてますが、今後も折れることなく、地道に辛抱強く理解を求めながら
この「ビブリオバトル」の普及に力を注いで参りたいと思います。

2015.1.24 The cafe ビブリオバトル in 凡句来#9



2015.4.18 The cafe ビブリオバトル in 凡句来#10



2015.7.18 The cafe ビブリオバトル in 凡句来#11



2015.8.30 The cafe ビブリオバトル in 凡句来 #番外編



2015.10.17 The cafe ビブリオバトル in 凡句来#12



と、こんな感じで進めています。

2015年は、8月に学生さんたちの希望もあり、8月に臨時開催を行い、地域の方にも浸透すべく啓発を繰り返していますが、地域性という問題点なども加わり思うように普及させていくことは厳しい状況ですが、今後も参加していただいている方々などにも負担にならないようご協力を求めながら継続し、一箇所でも多くの場所で開催していただく主催者が現れるようにしていきたいと思います。、
自分自身が組織(団体)を作った活動ではないので多方面への広報活動などは制限されますが、継続することを第一に、皆様に色んな知恵をお借りしながらがんばります。

=コーヒーショップ凡句来・新谷=

小学生も地域のおじさんも、大学生もサラリーマンも、 みんなライバル、みんな友達。

江上 昇（関西地区／写真右端）

連絡先：facebook「江上昇」

団 体：「sonoda ビブリオバトル」「夜カツ」

<https://www.facebook.com/sonodabiblio/>

<https://www.facebook.com/amagasaki.yorukatsu>



尼崎市でビブリオバトルを開催している江上です。尼崎市役所の職員をしています。ビブリオバトルは、元々は職場の若手職員の勉強会「夜カツ」で、仲間同士で楽しんでいたのですが、図書館やショッピングモールでの開催を経て、現在は地域の会館で定例会を開催するようになりました。そちらの活動はもうすぐ10ヶ月になります。

定例会は、尼崎市の北東端、伊丹・豊中と隣接する地区、「園田」にある「園田地区会館」で開催しています。館長の湯川さんが、「ビブリオバトルをやりたい」と思っていたところ、知り合った私の名刺の裏に「ビブリオバトル普及委員」とあるのを見つけてお声掛けいただき、そこから月1回のペースで開催しています。

最初は発表者を5人揃えるのにも四苦八苦していましたが、数ヶ月後には毎月参加してくれる「常連さん」も増え、facebook や市報を見て参加される方も加わって、発表枠が足りないほど賑わう状況になってきました。

広報にも力を入れており、SNS や市報、チラシ等を見て、毎回「ビブリオバトルを初めて見る方」がお越しになるため、毎回丁寧にルール説明をしています。

また、メンバーが固定されないため、毎回違った雰囲気になるのも面白く感じています。

昨年8月開催の会では、なんと小学生のチャンピオンが誕生し、インターネットを通じて知った読売 KODOMO 新聞さんが取材に来るなど、尼崎市の中で存在感のあるイベントになってきました。



また、毎回バトル後に全員で「お茶会」をしているのですが、子連れ参加のパパママもいたりして、老若男女が「本を通じて知り合っていく」という、貴重な機会になっていると思います。

実際に、ここで知り合った人たちが別のイベントを開催したり、ここでビブリオバトルを知った人が、市内の別の場所で、新たなビブリオバトルの定例会が始めたりといった成果も出ており、この場所での人と人との出会いが、連鎖的に新しいイベントなどに結びつき、町全体の活性化につながっていると感じています。

次年度は、学校・教育委員会を巻き込んで、市内で少し大きな流れにしていきたいと思っており、知り合いをたどって働きかけていこうと思っています。その節はまた色々と助言など頂けましたら幸いです。

〈開催実績〉

【sonoda ビブリオバトル】

- 第1回「はじめて」 2015.6.20
- 第2回「予想外」 7.18
- 第3回「大好き」 8.29
- 第4回「目からうろこ」 9.29
- 第5回「正統派」 10.24
- 第6回「星降る夜」 11.29
- 第7回「わくわく」 12.20
- 第8回「世界で一番」 2016.1.24
- 第9回「夜」 2.20
- 第10回「あふれる」 3.27（予定）

【夜カツビブリオバトル】

- 第14回 生駒全国大会予選の予選 2015.6.25
- 第15回 敗者復活戦 7.31
- 第16回 夜カツビブリオバトル in みんなのサマーセミナー
兼 全国大会最終予選 8.8

大和郡山ビブリオ試行錯誤の1年

氏名：柴田美衣

所属：大和郡山ビブリオ

檀原ビブリオバトル部

連絡先：y-koriyama-biblio@kcn.jp

2014年8月に「大和郡山ビブリオ」を立ち上げ、2014年11月22日に〈第1回ビブリオバトル in 大和郡山〉を開催。

その後、チラシ作り、チャンプ本記念品作成、ツイッター開始、ビブリオ感想カード導入、市長を招いての図書館開催など、試行錯誤中。

（「檀原ビブリオバトル部」では運営メンバーに所属。主に発表で参加）

★開催記録★

- 2015.01.31 〈第2回ビブリオバトル in 大和郡山〉開催
テーマ「家族」会場：ジャパンプックス郡山店
- 2015.03.28 〈第3回ビブリオバトル in 大和郡山〉開催
テーマ「はじまり」会場：ジャパンプックス郡山店
- 2015.05.31 〈第4回ビブリオバトル in 大和郡山〉開催※市長観覧
テーマ「学校」会場：大和郡山市立図書館
- 2015.07.25 〈第5回ビブリオバトル in 大和郡山〉開催
ジャンル「児童書」会場：大和郡山市立図書館
- 2015.09.26 〈第6回ビブリオバトル in 大和郡山〉開催
テーマ「月」会場：ジャパンプックス郡山店
- 2015.11.21 〈第7回ビブリオバトル in 大和郡山〉開催
テーマ「秋」会場：ジャパンプックス郡山店
- 2016.01.23 〈第8回ビブリオバトル in 大和郡山〉開催
テーマ「愛」会場：大和郡山市立図書館



←「大和郡山ビブリオ」のロゴ

2015 年使用のチラシ

第6回
ビブリオバトル in 大和郡山
 ～ジャパンブックス郡山店～
 テーマ「月」

中秋の名月、moon、夜空、うさぎ、狂気、年月、時…イメージをふくらませて
 あなたのオススメの本を紹介してください。

9/26 (土) 午後2時～3時

★ジャパンブックス郡山店にて
 (近鉄郡山駅の西側、白いビルの2階)

●ビブリオバトルとは...
 発表者がおすすめの本を持ち寄り、各5分で本の魅力を紹介。全員の発表後、発表者・観覧者が「一番読みたくなった本」に投票しチャンプ本を決めます。

発表者(5名)・観覧者募集!!!

発表のお申込みは！
 ●ジャパンブックス郡山店(0743-53-7001) ※日祝日除く
 ●大和郡山ビブリオ(柴田) y-koriyama-biblio@kcn.jp
<https://www.facebook.com/yamatokoriyama.biblio>

第4回ビブリオバトル in 大和郡山
 ～大和郡山市立図書館～
 テーマ「学校」

●5月31日(日) 午後2時～3時
 ●大和郡山市立図書館2階
 集会展示室
 ●お申込みは図書館カウンター、
 または電話(55-6600)

発表者(5名)・観覧者40名募集! **市長観覧!**

発表者がおすすめの本を持ち寄り、各5分で本の魅力を紹介後、約2分の質問時間。全員の発表後に発表者・観覧者が「一番読みたくなった本」に投票しチャンプ本を決めます。

大和郡山ビブリオ <https://www.facebook.com/yamatokoriyama.biblio>
 y-koriyama-biblio@kcn.jp

ビブリオバトルの楽しみ 2015

氏名： 川西 香子
所属： 榎原ビブリオバトル部
<http://www.facebook.com/kashihara.biblio/>
連絡先： toko.ohanashi@gmail.com



今年度もビブリオバトルを通して、たくさんの本と人に出会うことができました。榎原ビブリオバトル部の活動も軌道に乗り、年間計画を立てることができるほどになりました。心強い仲間と一緒に、月に一度、活動を楽しんでいます。榎原ビブリオバトル部としての活動は月に一度ですが、仲間が主催する他地区のビブリオバトルに参加したりするので、メンバー同士はもっと頻繁に会っている感じです。現在、運営メンバーは7名、運営に関わらないビジターメンバーが14名です。今年度は会員バッジを制作しました。入会時にプレゼントしています。また、ビブリオバトルチャンプ本を読みあう読書会も続けて開催しています。



今年度は、新しい出会いもたくさんありました。

Facebook で榎原のビブリオバトルを見つけて参加して下さった方が何名かいらっしゃいました。ありがとうございます。こうしてご参加くださったあるメンバーが、神保町の古本まつりで開催されるビブリオバトルに、榎原ビブリオバトル部として出場されました。このおまつりは、千代田図書館とも連携していて、特別展示の中に榎原ビブリオバトル部の紹介本も展示してくださいました。ありがとうございます。また、他にもこのご縁から榎原ビブリオバトル部を知ってくださった方が、榎原でのビブリオバトルにご参加くださいました。つながる人の輪を嬉しく、ありがたく思いました。

三洋堂書店榎原神宮店での開催も2016年4月で20回を迎えます。運営や司会進行など、当初は榎原ビブリオバトル部で担当しておりましたが、現在は書店さんが自店のイベントとして積極的に活動してくださっています。イベント詳細も自店のFacebookページに掲載してくださっています（三洋堂書店榎原神宮店 <http://www.facebook.com/sanyodokashiharajingu/>）。また、2月からは大安寺店でも開催が始まりました。今後の展開が楽しみです。

個人的に今年度、大きな出来事であったのは、生駒市図書館で開催された全国大会でした。バトラーとして参加させていただき、貴重な経験をさせていただきました。全国から集まった方々とお話するのも楽しいひとときでした。素敵な時間をありがとうございました。

次年度も、仲間と一緒にビブリオバトルを楽しんでいきたいと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

【榎原ビブリオバトル部 2015年度 活動記録】

- 4月5日(日) 榎B読書会 開催 小川洋子「人質の朗読会」
三洋堂書店榎原神宮店 ビブリオバトル vol. 14に参加 テーマ「うそ」
- 5月6日(振休・水) 第3回!いちにちまるごと札の辻!開催
榎B読書会 サリンジャー「ライ麦畑でつかまえて」
ビブリオバトル① テーマ「Bon voyage」 ② テーマ「邂逅」
- 6月7日(日) 榎B読書会 開催 川村たかし「新十津川物語(1)北へ行く旅人たち」
三洋堂書店榎原神宮店 ビブリオバトル vol. 15に参加 テーマ「あめ」
- 7月5日(日) 第4回!いちにちまるごと札の辻!開催
榎B読書会 有川浩「レインツリーの国」
ビブリオバトル① テーマ「天」 ② テーマ「川」
- 8月2日(日) 三洋堂書店榎原神宮店 ビブリオバトル vol. 16に参加 テーマ「宿題」
- 9月6日(日) 第5回!いちにちまるごと札の辻!開催
榎B読書会 ミヒャエル・エンデ「モモ」
ビブリオバトル①テーマ「きへん(木)」 ②テーマ「しんにょう(之)」
- 10月4日(日) 榎B読書会 開催 重松清「きよしこ」
三洋堂書店榎原神宮店 ビブリオバトル vol. 17に参加 テーマ「神様」
- 11月3日(祝・火) 榎原市立図書館第3回ビブリオバトル に協力 テーマ「夢」
- 12月6日(日) 榎B読書会 開催 明川哲也
「メキシコ人はなぜハゲないし、死なないのか」
三洋堂書店榎原神宮店 ビブリオバトル vol. 18に参加 テーマ「紅白」
- 2月7日(日) 榎B読書会 開催 ベルンハルト・シュリンク「朗読者」
三洋堂書店榎原神宮店 ビブリオバトル vol. 19に参加
テーマ「勇気がでる本」
- 3月6日(日) 第6回!いちにちまるごと札の辻!開催
榎B読書会 赤染晶子「乙女の密告」
ビブリオバトル① テーマ「乙女」 ② テーマ「運命」



つながりがつくるもの

氏名 : 益井 博史
所属 : ビブリオバトルふしみ
青年海外協力隊27年度3次隊
青少年活動隊員 ソロモン諸島
連絡先 : masui.hirofumi[a]friends.jica.go.jp
([a]を@に)



ビブリオバトルふしみ

京都伏見を中心にビブリオバトルを開催。

設立：2013年9月

開催回数：18回

FB : <https://www.facebook.com/bibliobattle.fushimi>

1. これまで

2015年度の活動に触れる前に、僕のこれまでのビブリオバトルとの関わりを少し述べさせていただきます。

ビブリオバトルとの出会いは2013年、大学図書館主催のものに参加したことでした。

当時留年3年目（！）だった僕は、この出場をきっかけに主催団体「ビブリオバトルふしみ」を立ち上げることを決め、毎月1回の開催に取り組みます。



直前なのに参加者が一人もいない！という事態が毎回の如く訪れましたが、少しずつ毎月の開催を楽しみにして下さる方や運営メンバーも増えていきました。

すべての留年3年目の人間がそうであるように（？）社会や大学の表舞台に脅えていた僕にとって、ビブリオバトルは貴重な実社会との窓口でした。

なんとか大学を卒業し、縁あってイベント運営に携わる企業に就職したこともあり、社会人になってからも月に一度のビブリオバトル開催を続けることができました。



2014年度には普及委員（関西地区担当）として教員研修会の講師を務めたり、全国大学ビブリオバトル準決勝の司会やビブリオバトル・シンポジウム2014のパネラーの一人になるなど、活動の幅を広げる機会も頂きました。



ビブリオバトルを通してできた経験、本との出会い、そして多くの方とのつながりは、明らかに今の自分を形作ってくれていると感じています。

2. 2015年度の活動

2015年度は、以下の活動を行いました。

1) 開催

第16回ビブリオバトルin伏見

- 5/23(土)／伏見寺田屋浜Piers'n'Peers
- パトラー7名
- テーマ「久々」



第17回ビブリオバトルin伏見

- 8/1(土)／納谷町コミュニティホール
- パトラー6名
- テーマ「挑戦」
- ビブリオバトル全国大会inいこま予選



第18回ビブリオバトルin伏見

- 9/12(土)／ブックマーク伏見
(伏見いきいき市民活動センター)
- パトラー5名
- テーマ「口」
- 新しい本と人とをつなぐ場所
「ブックマーク伏見」初回イベント



2) 開催補助

第1回ビブリオバトルin新大宮

- 9/23(水)／オープンスペース新大宮
- テーマ「10年後」
- バトラー5名
- 「居場所いいばしょチーム」
「新大宮みんなんち」共催



3) 講演

小学生限定！ビブリオバトルを体験しよう

- 8/18(火)／兵庫県稲美町立図書館
- 講演＋小学生6名によるミニ・ビブリオバトルの実施



4) その他



「和東ビブリオ」など、
他団体ビブリオバトル
への参加

青年海外協力隊派遣前訓練
語学クラスでの実施
(英語)

バンド結成
オリジナル・ビブリオバトル
ソング含むライブ実施

3. これから

僕は現在、青年海外協力隊として南太平洋のソロモン諸島に派遣されています。州の小中学校を束ねる教育局を職場に、生徒の読書習慣向上に向けた取り組みをすることが活動内容です（2018年1月まで）。



ソロモン諸島には一つも書店がなく、図書館にも十分な本がありません。また、熱帯地域の高い気温・湿度により、本の保存状態も良いとはいえません。（そして子どもたちは外で遊びまわるのが何より好きです）

本を読む習慣を広げるには厳しい環境ですが、これまで行ってきたビブリオバトルの活動を活かし、子どもたちに読書の楽しさを伝えていきたいと考えています。

ビブリオバトルは、本をより積極的に楽しむツールであると同時に、関わった人と人をつないでくれるものです。そうして生まれたつながりの延長線上に、今の僕自身があります。



ソロモンの子どもたちにも、本を通し、人を通し、たくさんのつながりをつくる魅力が伝わることを願っています。

最後までお読み頂きありがとうございました！

ソロモン諸島での活動記録はこちらにて↓
ブログ「本を持ってソロモンに行こう」 <http://biblio-solomon.tumblr.com/>

関西の大学生にビブリオバトルを広めたい

氏名：木村 修平

所属：立命館大学

連絡先：〒525-8577 滋賀県草津市野
路東 1-1-1 バイオリンク 3F 305

Twitter: @syuhe1



2015年度は、普及委員として以下の活動を行った。

- 6/28：ビブリオバトル春のワークショップ（立命館大学 BKC）
 - ライトニングトークにて「英語でビブリオバトル」を解説した。
- 8/12：Foreign Language Education and Technology VI（ハーバード大学）
 - 国際学会 FLEAT VIにおいて、英語でビブリオバトルについて共同発表を行った。（Kondo, Y., Kimura, S., Oga, M. “A book review game Bibliobattle: For English learners to build an open community online”）
- 11/22：くさつビブリオバトル みなくさの陣 2015（フェリエ南草津）
 - 過年度に引き続き、草津市教育委員会・立命館大学 BKC の協力を得て実行委員長をつとめた。また、今年度からくさつビブリオバトルは「みなくさ祭り」の正式なイベントと位置づけられることになった。
- 12/6：京滋奈良ブロック大学生協フェスティバル（龍谷大学）
 - 約 400 名の大学生協学生スタッフを対象に「『関西』の『大学生』だからこそビブリオバトルをやってみよう！」と題して講演を行い、その後、学生スタッフ代表によるビブリオバトルの司会を行った。
- 1/28：兵庫県猪名川町図書館教育研修会講演（町立猪名川中学校）
 - 「読書推進の新しいかたち～やってみよう！学校でビブリオバトル～」と題して教職員向けに講演を行い、その後、教職員代表によるビブリオバトルの司会を行った。

活動報告書

氏名： 池内 祥見（関西地区）
所属：大阪大学
連絡先：ikeuchi[at]arch.eng.osaka-u.ac.jp
（[at]を@に変更ください）



●基本的な活動

大阪の天満橋を中心に活動をしている「天満橋ビブリオバトル」を2010年11月より開始し、毎月開催して2016年3月で67回を数えます。主催は関西地区の地区代表である吉野と、(副)地区代表の中津と私の3名で行っています。

天満橋ビブリオバトルは、「大人の社交場」、「大阪市内で楽しむ紳士・淑女による社会人サークル」を標榜し、毎月第3水曜日19時半スタートを基本として活動しています。社会人を中心に、学生から年配の方まで毎回幅広い世代の方にご参加いただいております。

2013年後半からは元の開催場所だった天満橋の飲食店を離れ、グランフロント大阪や大阪府立大学のサテライトキャンパス内、森ノ宮の商業施設内など、開催場所を転々としながら、大阪市内の複数の場所においてビブリオバトルを開催しております。私は主に開催場所の手配・交渉、ならびに当日の実施(たまに司会)・運営を行っています。

・天満橋ビブリオバトルのHP(facebook ページ)

<https://www.facebook.com/bibliobattle>

※詳細、開催風景等はHPをご覧ください。

●その他周辺の活動

天満橋ビブリオバトルは、関西周辺でビブリオバトルを新しく始められる際の相談・サポート窓口として機能している面もあります。開催を考えておられる主催者の方や図書館の司書さんが天満橋ビブリオバトルに参加されて運営の参考にさせていただくこともありますし、お話があれば定期開催に向けての新しい立ち上げ時のお手伝いをさせて

いただくこともあります。過去には伊丹ことば蔵、堺市立図書館、西宮市立北口図書館などの立ち上げのお手伝いに関わり、発表者を務めさせていただいたりしています。

昨年は大阪府教育委員会さんからお話をいただき、「第1回大阪府中高生ビブリオバトル大会」のお手伝いをさせていただきました。夏の先生方への研修と12月の大会の司会で携わらせていただきました。

その他、時々になりますが、奈良県立図書情報館のビブリオバトルへ部員として参加したり、水都大阪や地域のお祭りなど毎月の通常実施とは異なる形でのイベントの実施や他団体との連携なども行っており、その辺りの交渉・調整も担当しております。

主催者の方や図書館関係の方で、新規開催を検討されていてお困りの場合はお気軽にご相談ください。開催場所についての提案(「ここでやって欲しい!」)も喜んで受け付けます。